

全国展開可能な ワールドファームの農業モデル

**有限会社ワールドファーム
経営企画室長 櫻井 勇人**

全国展開可能なワールドファームの農業モデル

- ワールドファームの紹介
- 儲かる農業について
- 儲かる農業を実践すると担い手の育成ができる
- アグリビジネスユートピア構想について
- 農産物の国産化プロジェクトについて
- 全国展開の流れについて

会社概要

基本情報

社 名	有限会社 ワールドファーム
設 立	平成12年1月26日
役 員	代表取締役 上野 裕志 取締役 幕内 通 取締役 大枝 裕宣
年 商	16.7億円（2019年6月期）
事業内容	農業生産および食品加工
関連会社	●（株）中電エワールドファーム〈合併会社〉 ●（株）ONLY JAPAN〈販売会社〉 ●（株）ワールドベネフィットカンパニー（WBC）〈アグリビジネスユートピア事業推進企業〉

展開状況

工場稼働	茨城本社、熊本支店、鳥取支店
工場着手	石川支店、他
生産拡大	常陸太田市、筑西市、竹田市、深谷市、石岡市、広島県、他
試験栽培	横手市、姫路市、芳賀町、他
準備中	千葉県、福岡県、他

主要拠点

名 称	ワールドファーム 茨城本社
所在地	茨城県つくば市谷田部3395-1
事業開始	平成17年
栽培品目	キャベツ、トマト
加工品目	芯取りキャベツ、みじん切りキャベツ

名 称	ワールドファーム 熊本支店
所在地	熊本県菊池郡大津町真木437
事業開始	平成19年
栽培品目	ハウレンソウ、コマツナ
加工品目	冷凍ハウレンソウ、冷凍コマツナ

名 称	ワールドファーム 鳥取支店
所在地	鳥取県倉吉市関金町関金宿141
事業開始	平成24年
栽培品目	ゴボウ、ハウレンソウ、他
加工品目	冷凍ゴボウ、冷凍ハウレンソウ

展開状況

アグリビジネスユートピア事業推進



WF 茨城

WF 熊本

WF 鳥取

全国10県
14ヶ所

WF 石川

常陸太田市

筑西市

竹田市

石岡市

淡路市

庄原市

深谷市

横手市

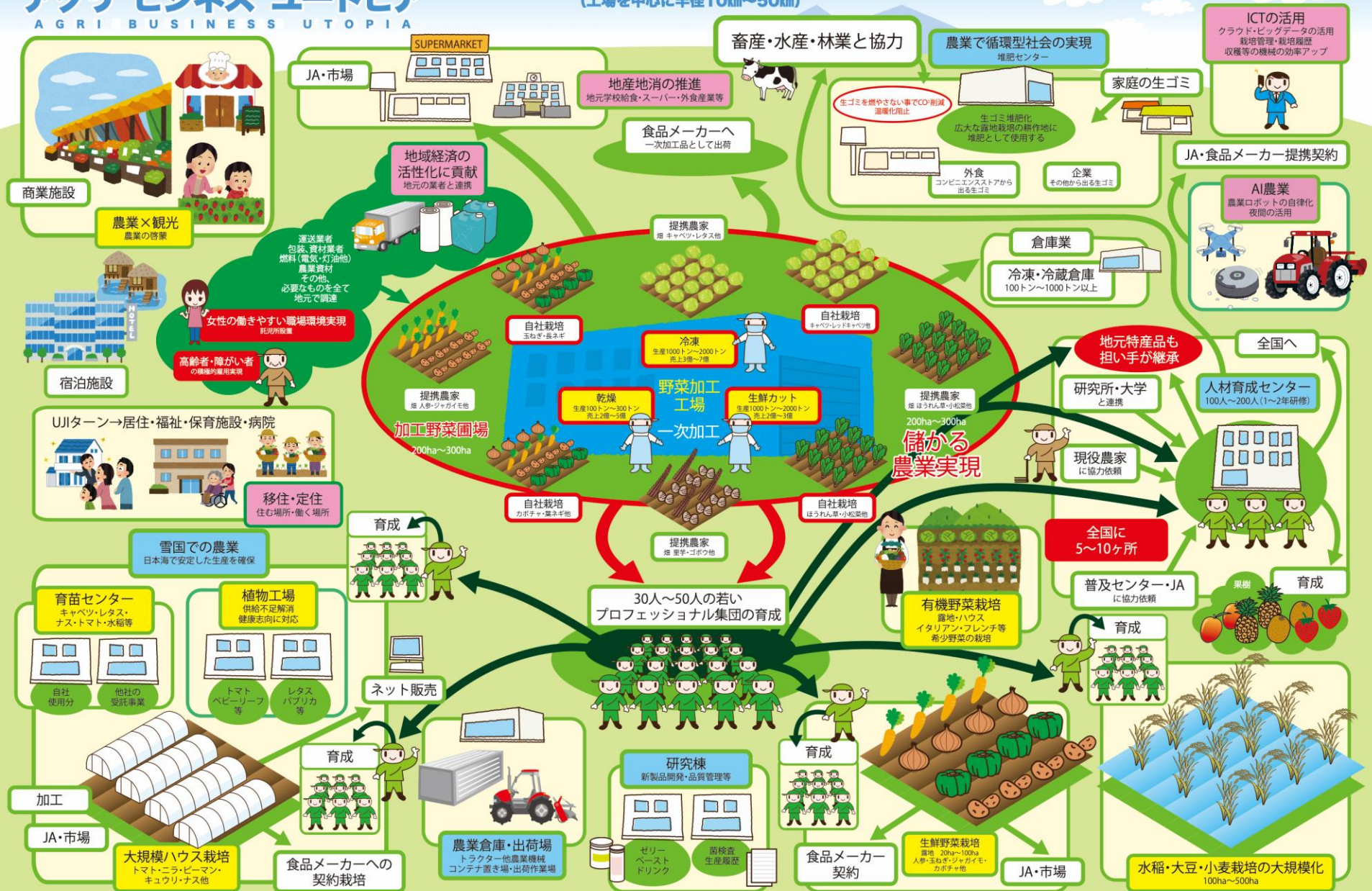
姫路市

芳賀町

他

その他35ヶ所の
自治体から招請あり





週刊ダイヤモンドに4年連続で上位掲載

モデル農家 第1位



モデル農家 第1位



モデル農家 第2位



レジェンド農家 第2位



経済産業省「はばたく中小企業300社」を受賞

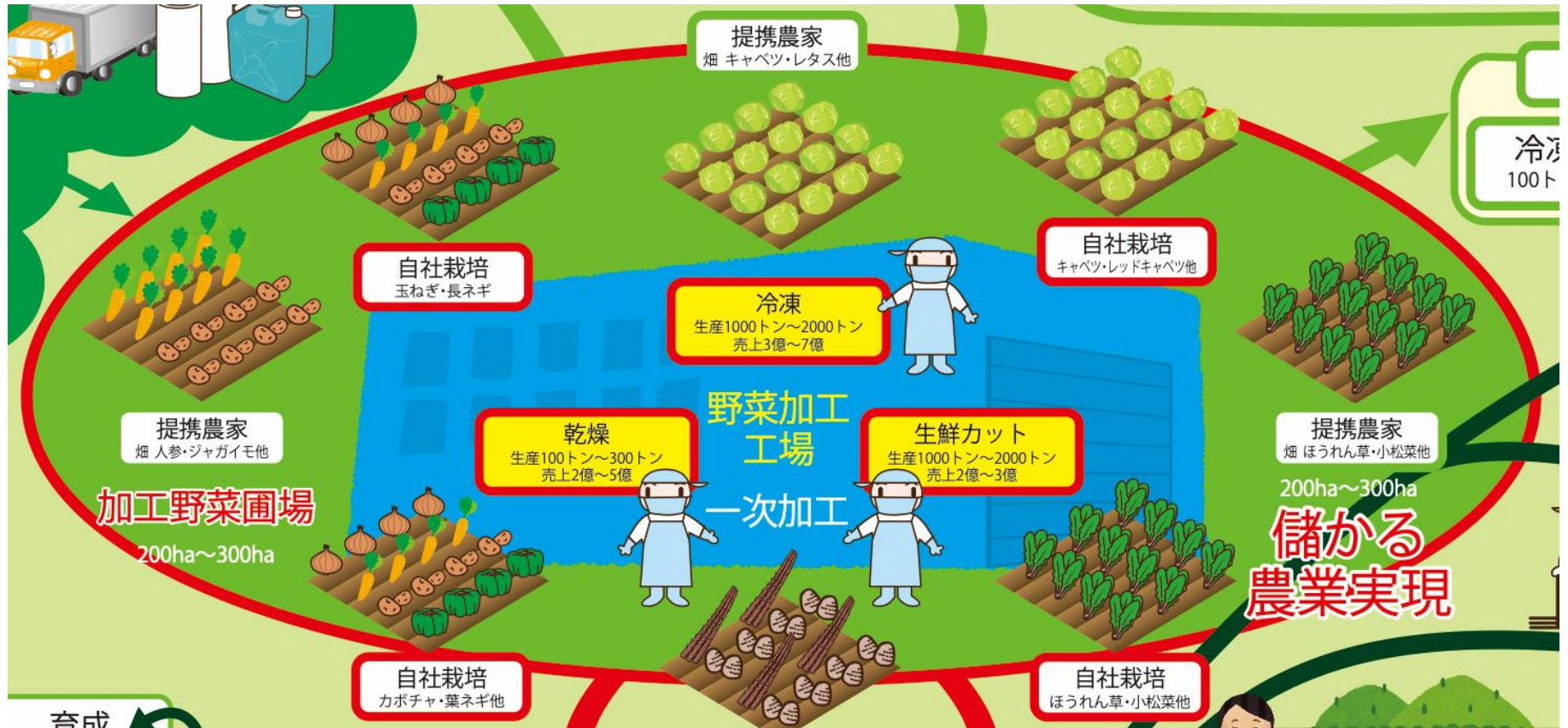




なぜ6次産業化すると儲かるのか

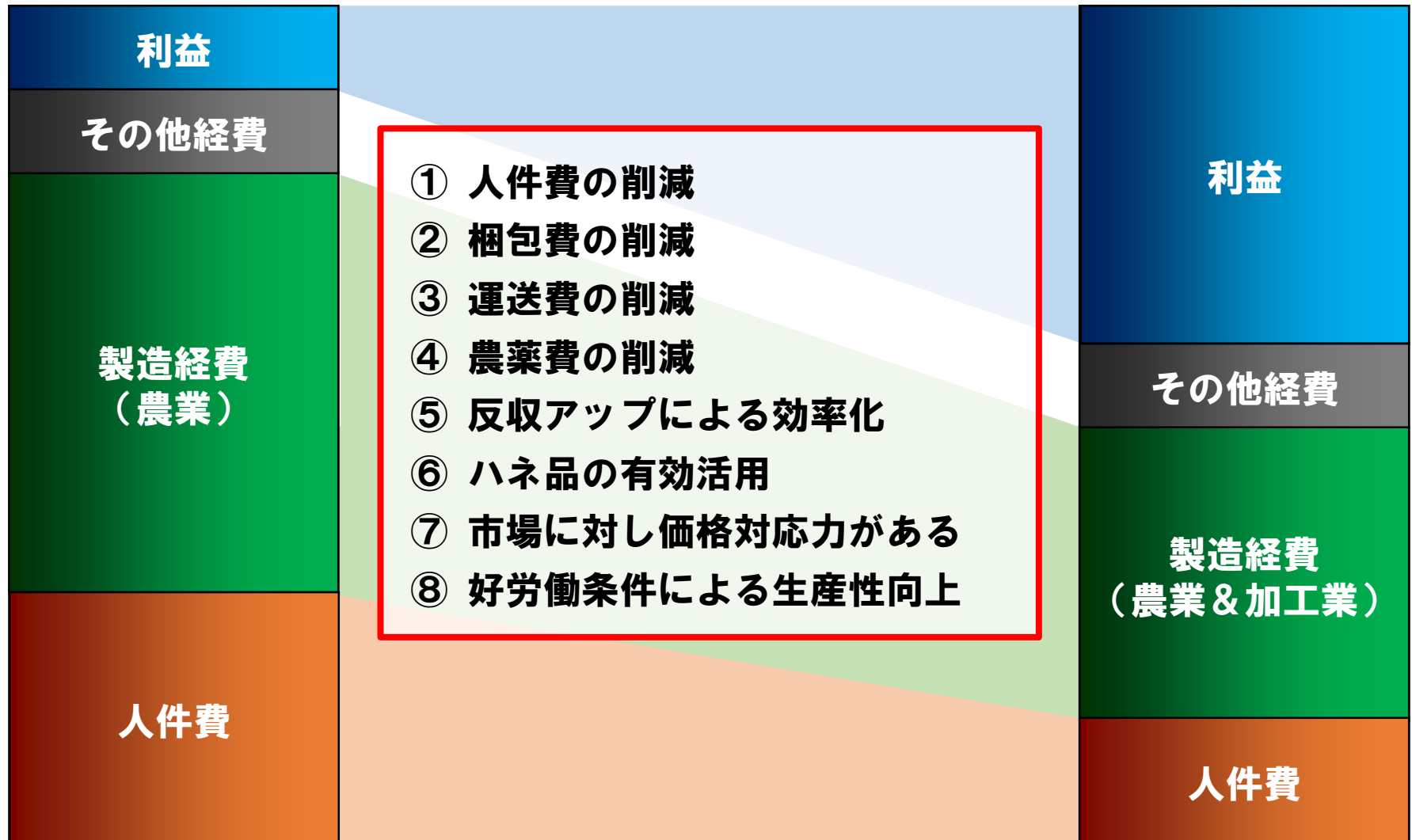
ワールドファームの形態

**工場を中心に半径10～15km圏内に農地を展開
栽培から加工・販売まで一貫体制**



儲かる農業の秘訣

工場は、農業の効率を高める為のツールである。



① 人件費の削減

ワールドファームでは
農業と工場を同じ人がやる（人も6次化する）
= どちらかの人件費がゼロ

月		火		水		木		金		土		日	
晴		曇		雨		曇		晴		晴		晴	
工場	農業	農業	工場	工場	農業	工場	農業	工場	農業	工場	休み	休み	休み

晴の日は農業、雨の日は工場

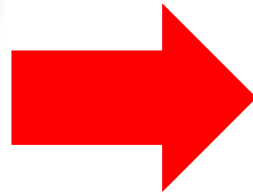
晴耕雨工

② 梱包費の削減

工場で用意したコンテナを使い回す

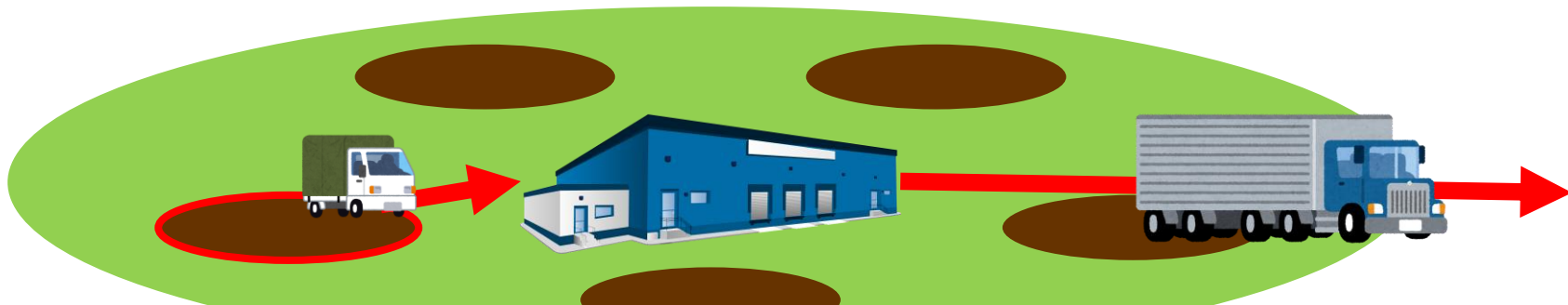


段ボール＋ガムテープ
100円



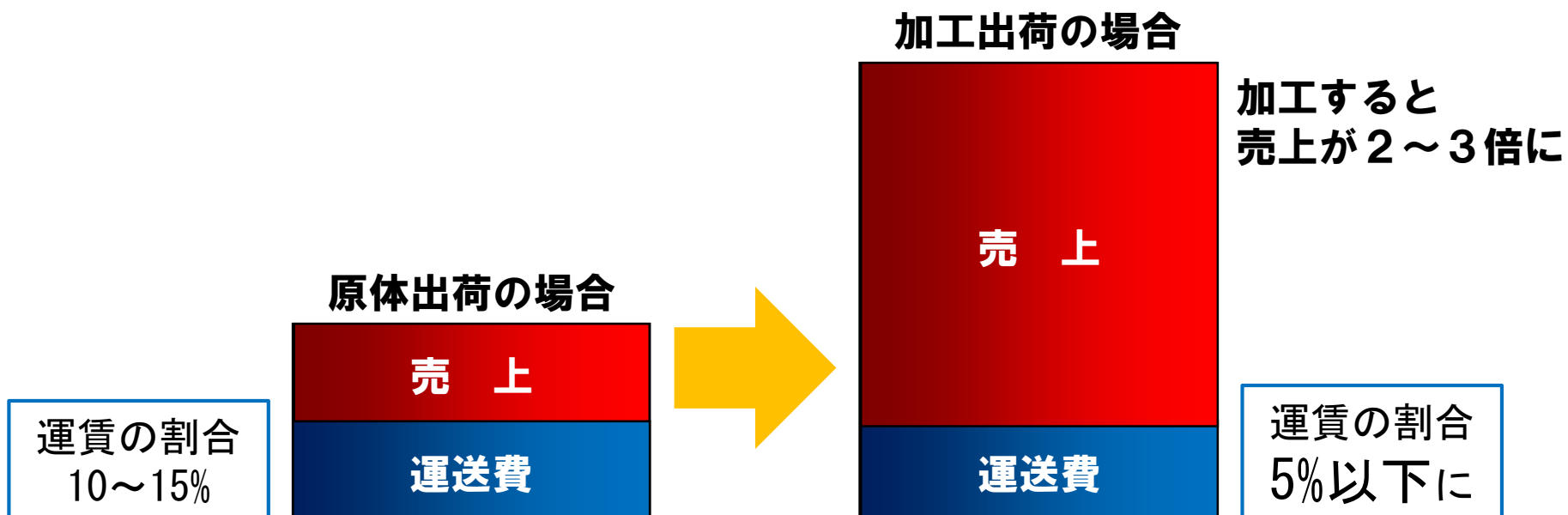
収穫コンテナ
実質0円

③ 運送費の削減



◎近くの工場に軽トラ等で持ち込める

◎加工することで運賃の割合が下がる



④ 農薬費の削減



青果の場合

虫食い・病気 : NG
薬散回数 : 20 ~ 30回

加工の場合

虫食い・病気 : 少しならOK
薬散回数 : 6 ~ 10回

農薬費が約 1 / 3 に

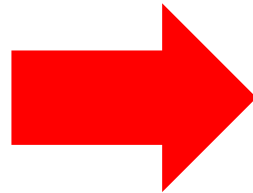
⑤ 反収アップによる効率化

**青果では規格外となってしまうが
加工業務用であれば大きい（＝重い）ほど良い**



青果

1. 25kg～1. 6kg



加工

1. 8kg～3. 2kg

⑥ 反収アップによる効率化



⑥ 反収アップによる効率化

加工用ホウレンソウは40～50cm



⑤ 反収アップによる効率化

青果の場合

出荷量	100トン
反 収	4トン/10a
作付面積	250a

加工の場合

出荷量	100トン
反 収	6トン/10a
作付面積	166a

**同じ量をこなすのに、面積が少なくて済む
＝農業の効率があがる**

**同じ量をこなすのに、手間が少なくて済む
＝加工作業の効率もあがる**

⑥ ハネ品の有効活用

**野菜の種類や生産方法にもよるが
約3割もの野菜が畑で廃棄されている**



⑥ ハネ品の有効活用



傷んだキャベツ



割れたキャベツ

加工



芯取り：一玉200円

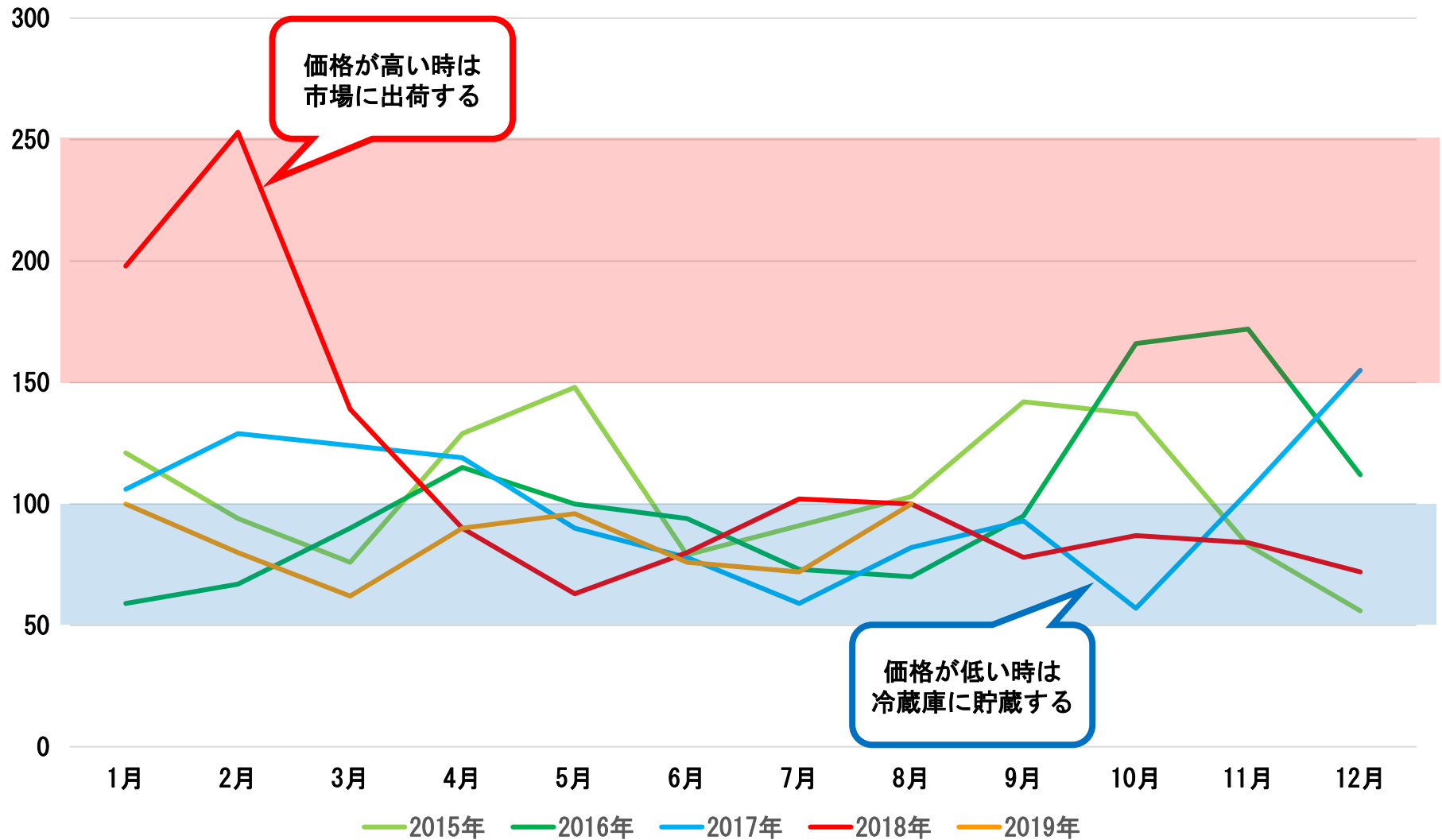


みじん：一玉400円

⑦ 市場に対し価格対応ができる

(単位：円/kg)

キャベツの月別平均卸売価格



⑧ 好労働条件による生産性向上

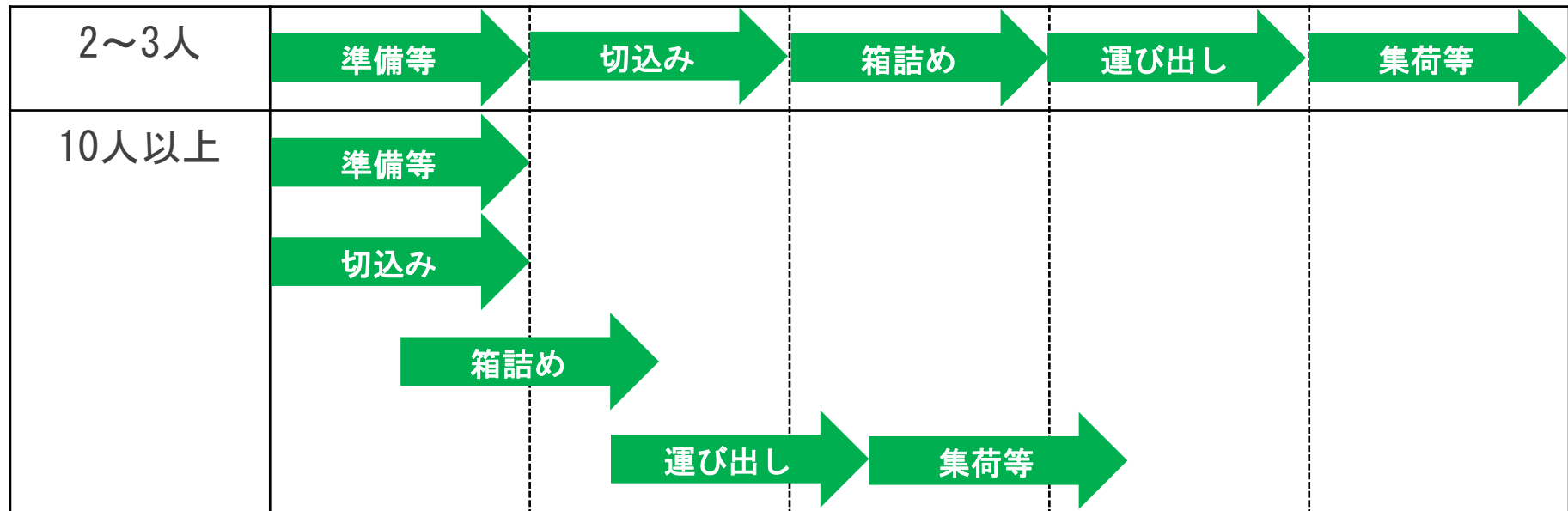
集団農業のシステムにより分業化

2～3人でやるより効率よく作業を遂行できる

結果：週休2日、年間休日120日

茨城本社では残業無し、週平均38時間を実現

例：キャベツの収穫



参考：キャベツ 10a当たりの労働時間比較

農水省統計項目	全国平均
育苗	5.71
耕うん・基肥	5.54
は種・定植	10.91
追肥	2.67
除草・防除	7.49
かん排水・保温換気	1.23
管理	3.80
収穫	27.36
調整	4.86
出荷	17.96
管理・関節労働	2.20
比較対象合計	81.82

ワールドファーム項目	ワールドファーム (加工)
育苗(外注)	0.00
土作り	3.20
作付け	0.98
栽培管理 ・追肥 ・薬散 ・除草 ・圃場の管理等	3.30
収穫	1.05
(加工用なので無い)	0.00
出荷	2.38
管理・関節労働	—
比較対象合計	10.91

資料：農林水産省 平成19年「品目別経営統計」

約7倍

次世代農業者の育成は可能なのか



担い手育成の考え方

雇用就農

7～8年かけて
全国の拠点で研修を重ねる

年収500万円達成

プロフェッショナル

提携企業
リーダー

独立就農

ワールドファーム
幹部

年収1,000万円以上を目指す

ワールドファームの教育体制

1 年目

新入社員

年収：200～250万円

2 年目

3 年目

若手写真

年収：250～300万円

4 年目

5 年目

中堅写真

年収：400～450万円

6 年目

7 年目

8 年目

グループ長～管理者

年収：450～500万円以上

農業の基礎知識・技術

農業の専門知識・技術

より高度な技術

食品加工の知識・技術

品質管理・食品衛生等

工場の管理

社会人としての基礎研修

リーダーシップ研修

管理者研修

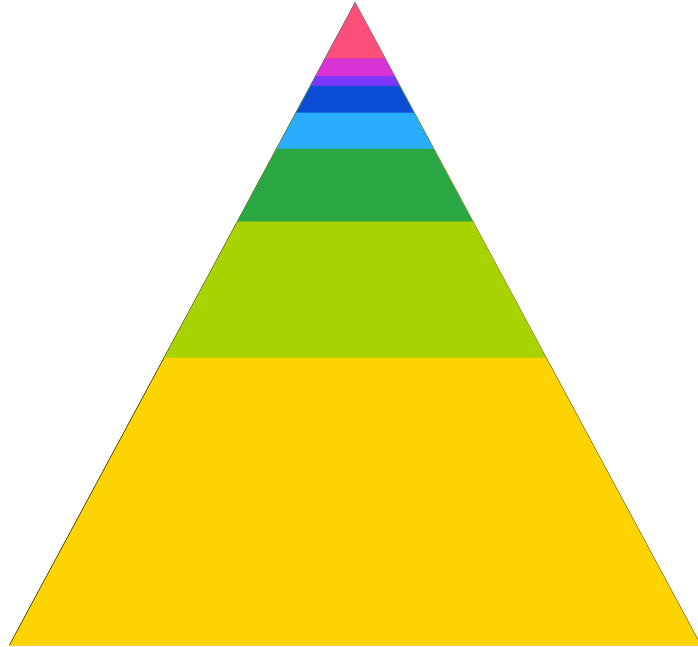
トラクター等の免許

各種資格取得支援

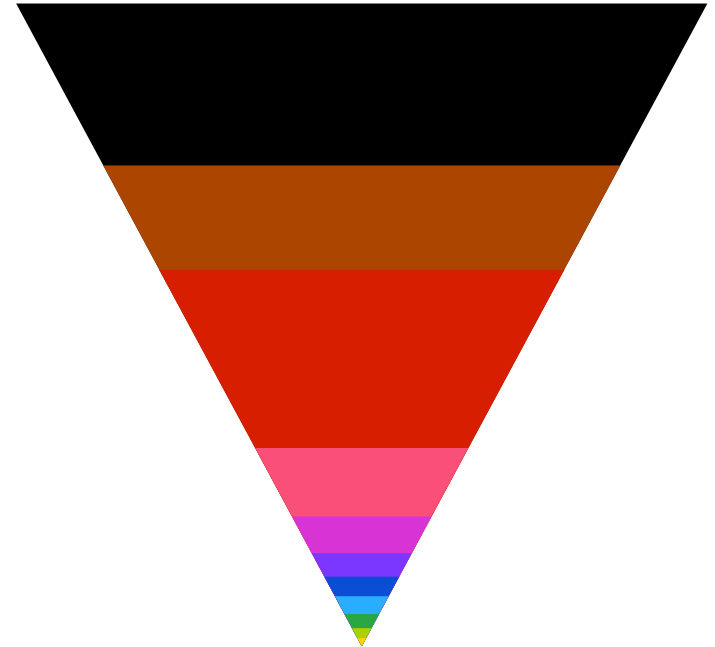
経営・法規等

ワールドファームの年齢構成

ワールドファーム



全国統計

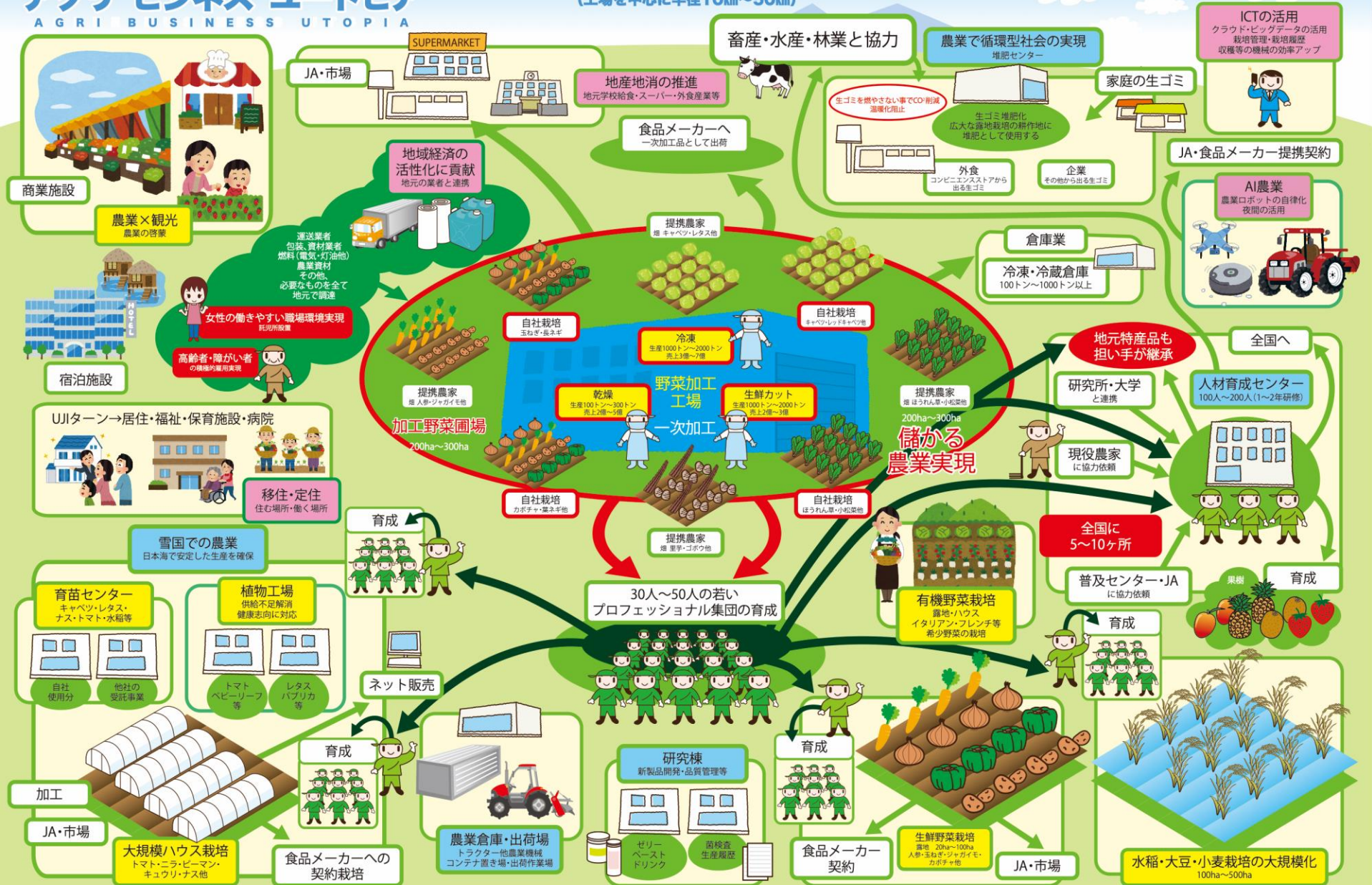


	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～
ワールドファーム	45.1%	21.1%	11.3%	5.6%	4.2%	1.4%	2.8%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
全国統計	1.2%	1.6%	2.1%	2.7%	2.9%	3.5%	5.7%	10.6%	27.7%	16.2%	25.8%

左：平成31年6月 ワールドファーム統計

右：平成31年度 農林水産省統計（農業構造動態調査：基幹的農業従事者）

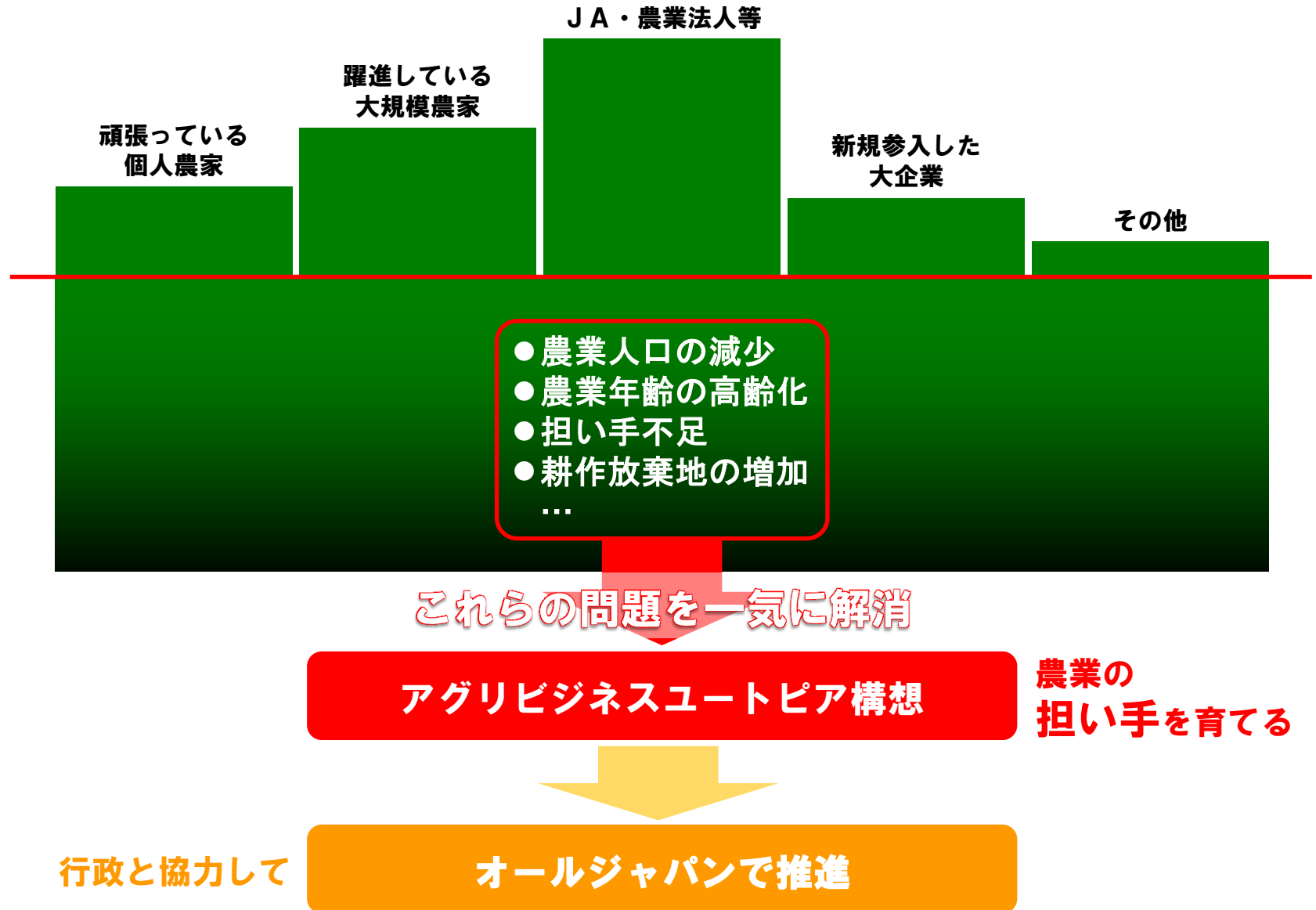




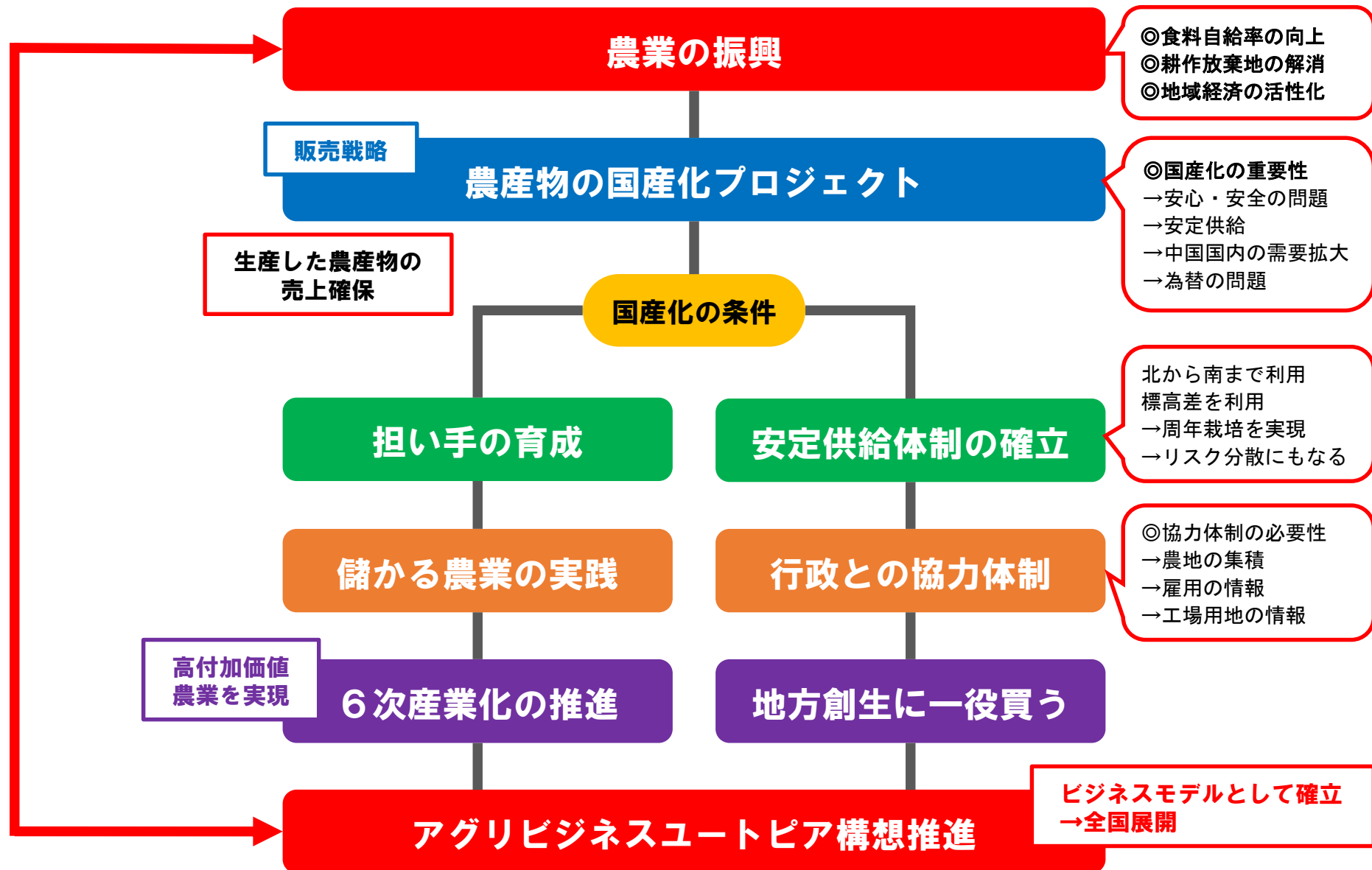
A satellite image of Japan and the surrounding waters, showing the country's archipelago and the surrounding ocean. The text is overlaid in the center of the image.

農業は事業として全国展開可能なのか

ワールドファームが描くグランドデザイン



アグリビジネススイートピア構想の概要





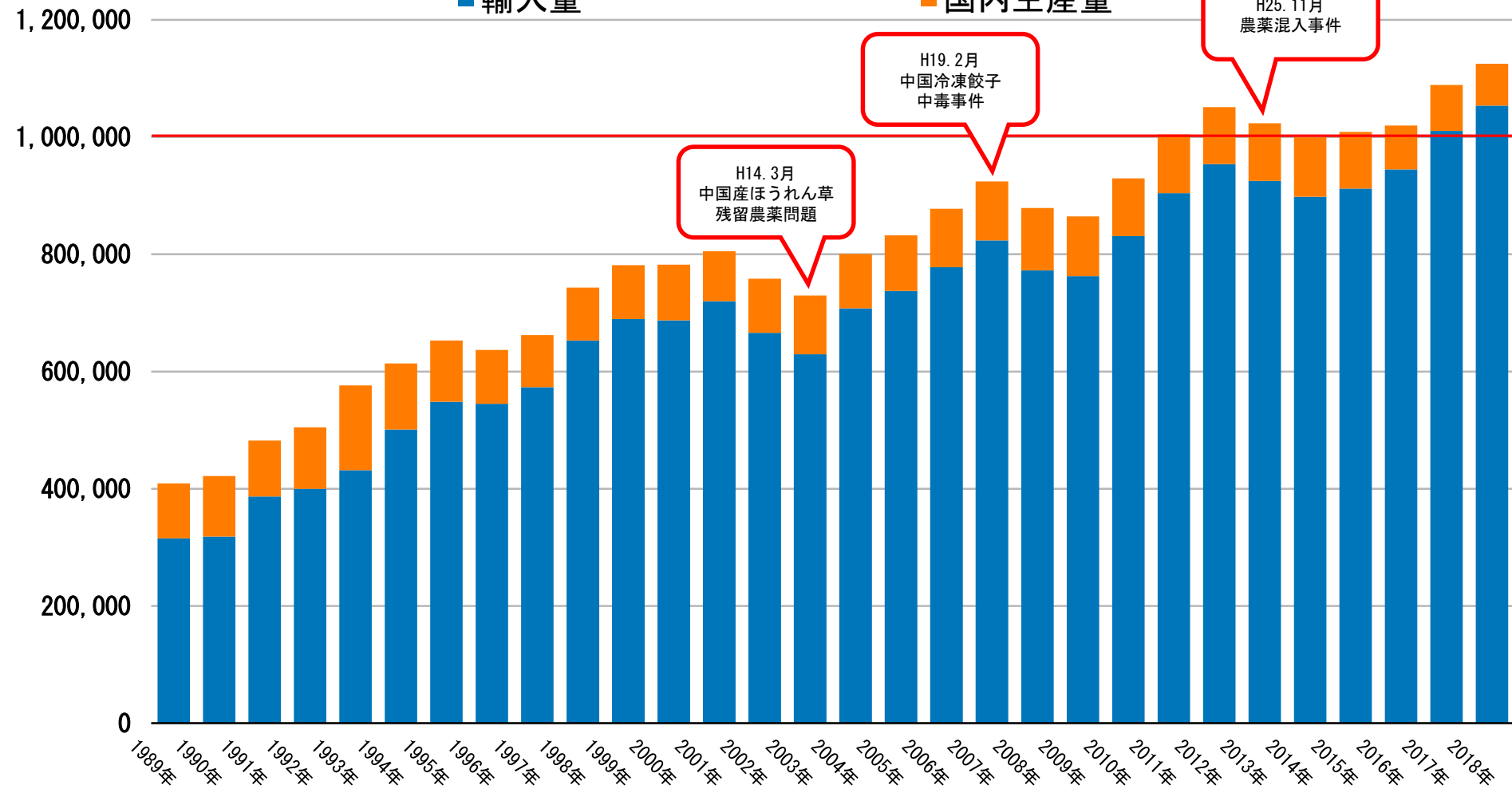
農産物の国産化プロジェクトとは

冷凍野菜の流通量の推移

(単位：トン)

■ 輸入量

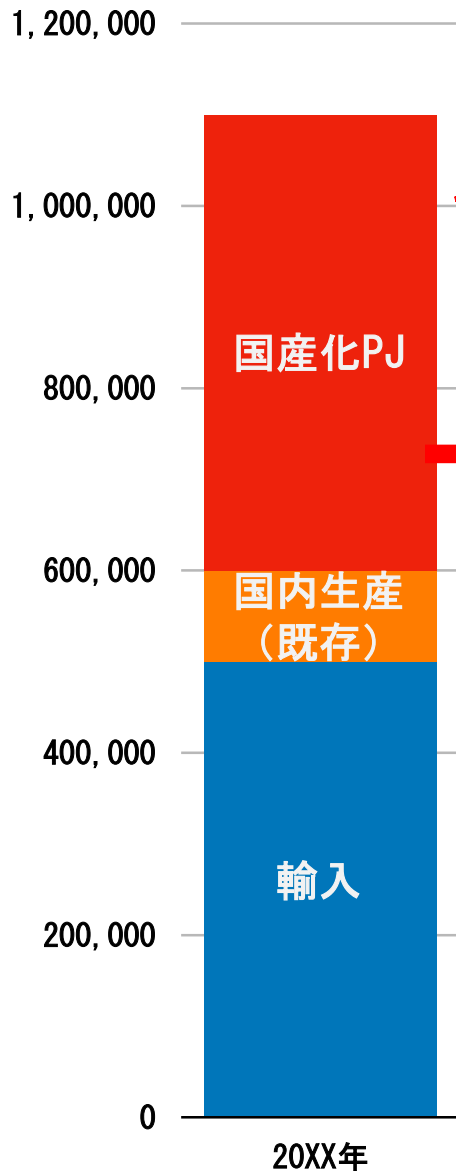
■ 国内生産量



出展：機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」：(一社)日本冷凍食品協会「冷凍食品の生産・消費について」
冷凍野菜の流通量は、輸入量と国内の農産品生産量を合計して算出

農産物の国産化プロジェクト

(単位：トン)



目標：輸入野菜のうち50万トンを国産化!!

- 農業法人
- 地元生産者
- J A 等

参画

- 食品メーカー
- 外食産業
- 商社 等

帝国データバンクで
調査を実施

**90%以上が
国産化に賛成**

ただし...

新たな需要の創出（既存の生産者と競合しない）

食品メーカー等が国産化に踏み切る為には条件がある

1. 大量の原料が必要であること
2. 原料を安定的に調達できること
3. 長期の見通しがあること

これらの条件を満たせば国産化が可能

1. 大量に原料が必要であること

◎行政と協力し、大規模農地の確保

2. 原料を安定的に調達できること

◎南北の気候差や標高差を利用した産地リレー

◎全国展開によるリスク分散

◎冷凍加工等による需給調整

3. 長期の見通しがあること

◎農業のプロフェッショナル集団の育成

そのための儲かる農業→持続可能な産地育成

国産野菜の引き合い状況

(単位：トン)

品 目	引き合い量	現在の生産量
キャベツ類	17, 000	3, 000
レタス類	3, 000	0
ゴボウ	8, 000	500
ホウレンソウ類	5, 500	1, 500
タマネギ	30, 000	50
ニラ、カボチャ、ニンジン、ブロッコリー、 アスパラ、ジャガイモ、他	30, 000	100
合 計	93, 500	5, 150

生産面積： 4, 370ha 250ha

売上にして80億～120億円 ↑

国産化の必要性について

- 最大の輸出国である中国も農業人口の高齢化
- 中国産の安心・安全の問題
- 中国自体が消費国になっている

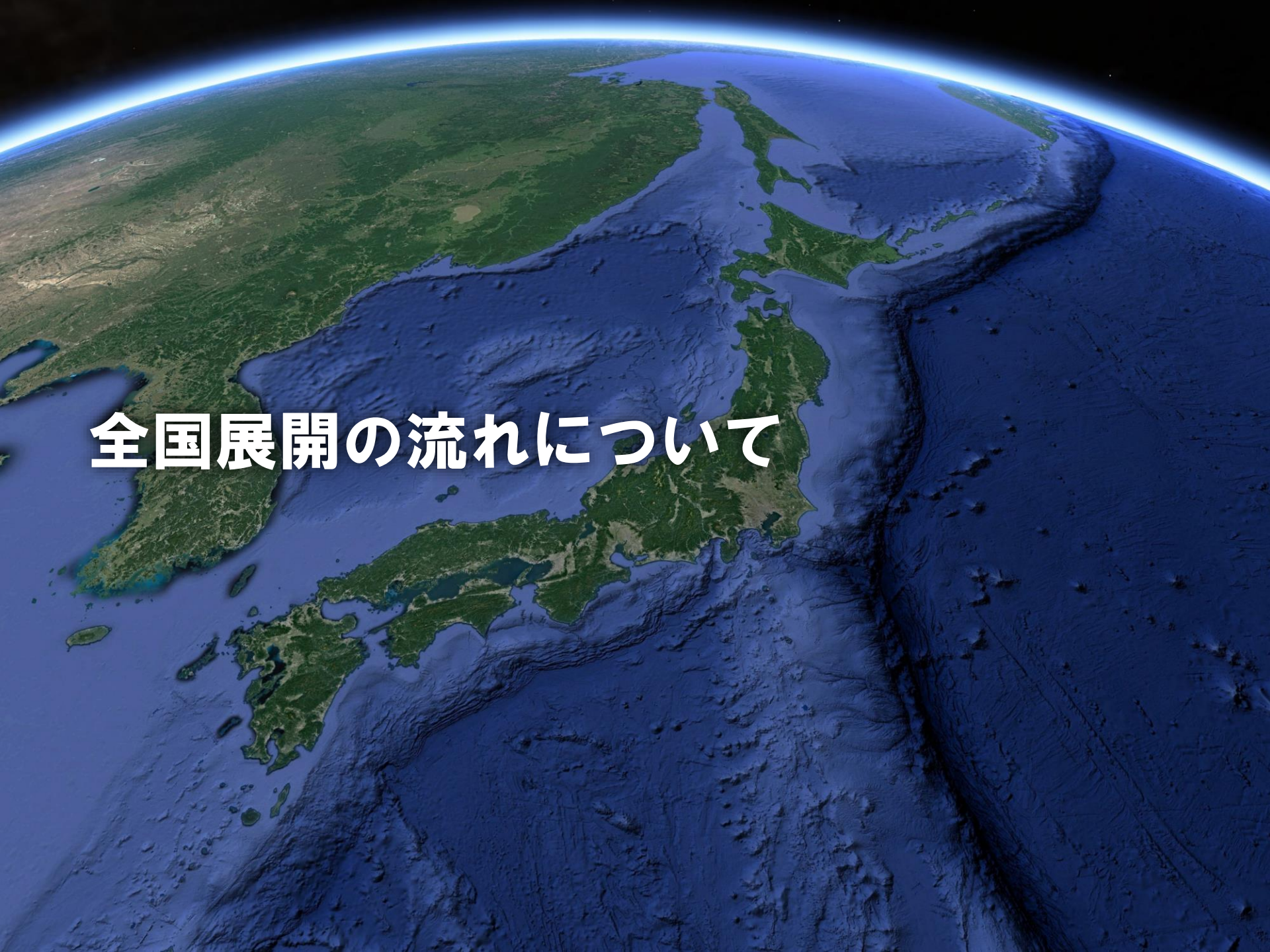
さらに

- 2050年には世界人口100億人
- 年々厳しくなる地球環境
- 来る食糧問題

国産化をすすめると

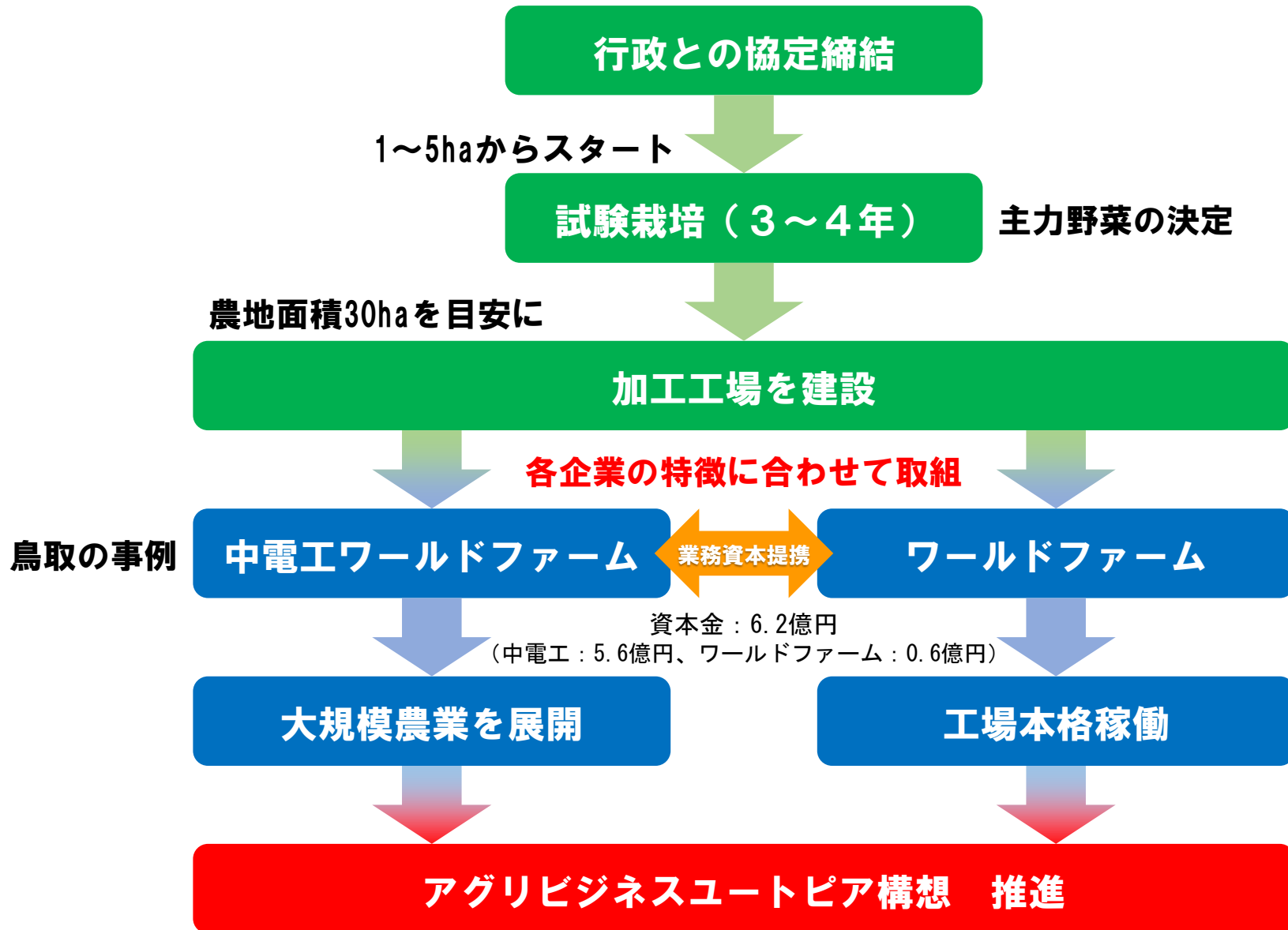
- 大量の野菜を栽培するため、耕作放棄地の解消に繋がる
- 担い手を育成できる（雇用創出）

農業を産業として成長させる → 地域経済の活性化

A satellite image of Japan and the surrounding seas, showing bathymetry (seafloor topography) in shades of blue. The Japanese archipelago is visible in green and brown. The text "全国展開の流れについて" is overlaid in white.

全国展開の流れについて

(農地さえあれば) 全国どこでもできるビジネスモデル



アグリビジネスユートピア構想との連携について

連携パターン

- ◎実需者（食品メーカー等）の企業の皆様
- ◎すでに農業に参入している企業の皆様
- ◎地域貢献として農業に参入したい企業の皆様
- ◎農業を成長産業と捉え、ビジネスチャンスとして農業に参入したい企業の皆様

何を目指すのか、どの段階から取り組むのか



国産野菜の推進
(例：冷凍野菜100万トンのうち50万トン为国産化／輸出に向けた商品開発／他)

「実需者」へ安定的かつ持続的に供給
(食品メーカー、外食産業、大手商社、等々)

契約栽培
(加工業務用野菜)

1次加工品
(生鮮カット、冷凍、乾燥)

J A、市場等
(青果、加工業務用野菜)

儲かる農業を実践
(ワールドファーム、他)

J A、出荷団体等



地元生産者

地域資源
(資材、物流、畜産等)

農業大学等
(体験・実習)

農業のプロ集団

農地の確保
工場用地の紹介
雇用の斡旋等

地方自治体
(農業の振興、雇用創出、地域経済活性化)

出資
業務提携等

農業参入企業
(地域貢献、ビジネスチャンス、他)

国

支援

全国100ヶ所
展開をめざす

W B C
(事業推進団体)

ワールドベネフィットカンパニー（WBC）の設立



World Benefit
Company

アグリビジネスユートピア事業推進本部

事業内容

- 提携企業との連携のプロデュース
- 進出予定の行政との打ち合わせ
- 農業法人、野菜加工会社へのM & A
- 講演・セミナーの受け入れ及びプロデュース
- 直営農場の展開（新商品の開発・販売）

株式会社 ワールドベネフィットカンパニー（WBC）
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-4
グランディール日本橋501

代表取締役 社長 幕内 進（ワールドファーム会長）

